



# 動労千葉

86. 8. 5  
No. 2311

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五〇六（公衆）〇四七二二二七二〇七

# 「動労のためになる自民党」これじゃ総評に居られない

## 「自民党への投票」を組合員に指示した動労革マル「松崎 社会党では動労の利益にかなわない」

動労「本部」がさきの衆参同日選で、国鉄分割・民営化を推進する民社党候補を推せん・支持したことは周知のとおりだが、何んと民社党はおろか、自民党候補への投票を組合員へ文書をもって依頼・指示していたことが判明した。総評加盟の動労「本部」批判が集中、松崎は労働組合といえない行為を正当化せんと「総評脱退劇」を演じてみせたのだ。中曽根の先兵として総評、国労、動労千葉を破壊し、戦後労働運動総体を産業報国会化しようとする動労革マル・松崎を総評からいまこそたたきだせ。

### 「自民党・民社党支持」を松崎が指示

衆院佐賀全県区の自民党候補「前運輸大臣・山下徳夫」に投票するよう指示した下の文書だけで腐り切った動労の多くを語る必要は全くない。

門司地本委員長・石津とは「本部」役員当時から動労千葉破壊の先頭に立ってきた動労革マル分子である。

委員長・石津名で「社会党公認でも動労の利益につながらない候補は支持しない」「動労の考え方を理解し協力頂ける議員を一人でも多く国会へ」その候補者が、自民党で、前運輸大臣の山下徳夫で、それを、「中央本部と相談」「中央本部の要請」とあるように、「中央本部」松崎の指示によって行われたのである。

また、神奈川五区においては、自民党以上の分割・民営化賛成派の民社党、しかも鉄労の生みの親で、元国鉄常務理事の河村勝を公然と推せん（動労全国大会に当選御礼にかけつけている）したので、動労革マルは動労をもはや労働組合とはいえない「動労」にしてしまった。松崎が中曽根・杉浦のお先棒をかつぎどんなに屈服しても、利用されるだけで一度道をふみはずした松崎は、とどまることのない屈服を強いられ、絶望的攻撃にうって

てきているのだ。

### 資料「動労組合員宅に郵送されていた石津の手紙」

#### 動労のためになる自民党（前運輸大臣）山下徳夫をよろしく

うっとりしい毎日がつづいておりますが、いかがお過ごしですか。さて衆・参同日選挙も終盤をむかえています、私たち動労として佐賀全県区の場合「正直いってだれを推すのが組合員のためになるのか」思いめぐねて、中央本部とも相談してきました。その結果、中央本部としては、選挙後に開かれる国鉄「臨時国会」で私たち動労の考え方を理解し協力頂ける議員を一人でも多く国会に送ってほしいとの立場から前運輸大臣の山下徳夫候補について「組合員ならびに家族のご支持を得たい」との要請がありました。

地方本部は、こうした中央本部の要請を前向きに受けとめると同時に、国鉄労組出身の候補を支持していくことは、仮にそれが社会党公認であったとしても「動労組合員の利益にはつながらない」との立場に立って、いろんな諸事情をふまえたなかで、非公式ではありますが、ここに最終判断をくだしたところであります。組合員の皆さん方におかれましても地方本部の「意のあるところを是非おくみとり頂きまして、よろしく願います次第であります。場合によっては選対事務所などから「お願いの電話など」があると思しますので、その際には「対応をよろしく」お願いいたします。家族ならびに親類の皆さんにもよろしくお伝え下さい。

一九八六年七月

国鉄動力車労働組門司地方本部  
執行委員長 石津 兼久